

学校教育目標	夢や希望をもち、心豊かでたくましく生きる児童の育成
目指す学校像	あいさつが響き 一人ひとりのよさが輝く 楽しい学校

重点目標	1 確かな学力の向上 2 生徒指導・教育相談の充実 3 家庭・地域の教育力を生かした取組の推進 4 健康な心と体・安全な美しい学校 5 教職員働き方改革
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価		年度評価					学校運営協議会による評価
年度目標		年度評価					実施日令和8年2月12日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査において、国語・算数ともに全国平均にわずかに及ばない結果であるが、国語「書くこと」は平均を上回っている。 ○日頃の学習の様子から、興味のあることに関しては、意欲的に取り組む児童が多い。 (課題) ○全国学力・学習調査の結果から、国語における無回答率が全国平均より高いことから、問題解決を途中であきらめてしまう傾向があることがわかる。 ○同結果から、国語「読むこと」や算数「変化と関係」「数と計算」に課題が見られる。 ○さらに意欲的に学習に取り組めるよう、学びの自律化やICTの効果的な活用を進めていく。 	<p>「確かな学力の向上(特に読む力)」と「主体的な学びの推進」の両輪をICT機器を有効的に活用しながら相互連携した授業改善に取組む。</p>	<p>①読書を楽しむ気持ちを育て、読書習慣をみにつけるために、読書タイム、図書ボランティアさんによる読み聞かせ、読書カード活用、読書の日の励行、多読書賞表彰など、年間を通して実施する。</p> <p>②児童が主体的に取り組める活動を取り入れた授業を計画し、実践する。また、めあてをより明確にした授業を展開し、授業後の振り返りを分析し、子どもたちに「わかりやすい授業」を提供する。</p>	<p>①学校評価(児童アンケート)において、読書の項目で「そう思う」の回答(R6 62%)の割合が65%以上になったか。</p> <p>②学校評価(児童アンケート)において、「わかりやすく教えてくれる」の項目で「そう思う」の回答(R6 77%)の割合が80%以上になったか。</p>	<p>①学校評価「読書」の項目で「そう思う」の回答の割合は65%を達成できなかった。(52%)しかし、本貸出数は2,000(12月時点)増加している。また、保護者アンケート「子どもの読書への関心が高まっている」の肯定的回答が昨年度比9%向上した。</p> <p>②学校評価「先生はわかりやすく教えてくれる」の項目で「そう思う」の回答の割合は、80%を達成できなかった。(73%)しかし、保護者アンケート「子どもに学力が身に付いている」の肯定的回答は昨年度比30%向上した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学習状況調査結果を踏まえ、児童の「読むこと」の意欲向上を目標に据え、読書ボランティアや教員の読み聞かせ、ピリオバトル、月毎の課題文前設置等、継続的な読書活動啓発を実施する。 ・主体的な学びを実現するために、授業の中で児童の十分な活動時間を確保するために、教員が的確、要約、簡易な発話を研究し、且つ、児童の学ぶ意識を高められる導入ができるように、全体で研究していく。
		<p>学ぶ楽しさを実感できるように、児童が主体的に学びを進められる時間を創出する。</p>	<p>①「学びのポイント(じ・し・や・く)じぶんで、思考し、やってみる、クラウドを使って」を意識した授業を実施していく。</p> <p>②「STEAM TIME」を中心として、探求的な学びや教科横断的な単元を創出し、児童が学ぶ楽しさを実感できる授業を展開する。</p>	<p>①学校評価(教職員アンケート)において、「子どもが学習課題解決に主体的に取り組んでいる」の項目で「そう思う」の回答(R6 13%)の割合が20%以上になったか。</p> <p>②学校評価(児童アンケート)において、「課題解決に進んで取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答(R6 54%)が57%以上になったか。</p>	<p>①学校評価「子どもが学習課題解決に主体的に取り組んでいる」の項目で「そう思う」の回答の割合は、20%を達成できなかった。(7%)</p> <p>②学校評価「課題解決に進んで取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答は、57%を達成できなかった。(41%)しかし、保護者アンケート「子どもは課題解決に主体的に取り組んでいる」の肯定的回答は昨年度比3%向上し、教職員アンケートでも同項目で肯定的回答は昨年度比と同評価だった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのポイント「じ・し・や・く」を念頭に置いた授業づくりを踏まえ、学習形態の工夫やGoogleClass-roomを有効活用した授業実践を全体共有しながら研究を進めていく。 ・児童に学ぶ楽しさを味わわせるために「本物に触れる本物から学ぶ」視点から、外部講師を継続的に招聘したり、体験学習機会を増やしたりしていく。
2	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Sola る一む使用の申し込みは3名(R6)であり、使用頻度はそれぞれ差異があるが、年間を通して活用した。 ○教職員はアンテナを高く張り、子どもたちの課題にいち早く気付けるように努めている。 (課題) ○教職員の生徒指導や保護者対応に対する迅速かつ正確な情報共有と組織的な対応力の育成と、児童一人ひとりに寄り添い、適切なタイミングで組織的に支援していく体制づくりが必要である。 	<p>児童の実態や保護者の希望に寄り添い、Sola る一むを運用していく。</p>	<p>①教員の生徒指導、教育相談等の指導力向上に向けた研修を実施する。また、児童一人ひとりに寄り添い、組織で丁寧に対応していく。</p> <p>②校内学習室、保健室、会議室等、Sola 室として使用可能な部屋の整理整頓をする。</p>	<p>①学校評価(保護者アンケート)において、「子どもは個の発達や実態に応じた指導を受けている」の項目で「そう思う」の回答(R6 22%)が25%以上になったか。</p> <p>②校内学習室、保健室、会議室等、整理整頓されているか。</p>	<p>①学校評価「子どもは個の発達や実態に応じた指導を受けている」の項目で「そう思う」の回答の割合は、25%以上を達成した。</p> <p>②Sola 室活用児童はいなかったが、校内学習室、保健室、会議室は、定期的に巡回し、必要に応じて整理整頓させた。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・きりりルーム、学年学習室、会議室等、Sola ルームとして活用できる部屋の室内環境を常に美化することを継続的に伝える、徹底していく。 ・担任、SC、SSW、養護教諭、管理職等と関係職員間において、課題を抱える児童の情報共有を継続的に遂行できるよう、記録を残していく。また、情報を施錠できる場所へ保管し、厳重に管理していく。
		<p>いじめのない明るい学級づくりを念頭に、生徒指導・教育相談の充実に取り組む。</p>	<p>①児童の悩みやトラブル等に気づき、迅速に適切に対応できる教職員を育成できるよう、生徒指導、教育相談にかかる研修を行い、教職員の資質向上に努める。</p> <p>②児童の悩みやトラブルに対し、組織対応していく体制をつくるために、迅速かつ詳細な情報共有を促していく。</p>	<p>①学校評価(児童アンケート)において、「困ったことを学校の先生に相談する」の項目で「そう思う」の回答(R6 55%)が60%以上になったか。</p> <p>②学校評価(保護者アンケート)において、「教職員は子どもたちの悩みやトラブルに適切に対応している」の項目で「そう思う」の回答(R6 25%)が30%以上になったか。</p>	<p>①学校評価「困ったことを学校の先生に相談する」の項目で「そう思う」の回答は60%を達成できなかった。(45%)しかし、全体の肯定的回答は昨年度比と同評価だった。</p> <p>②学校評価「教職員は子どもたちの悩みやトラブルに適切に対応している」の項目で「そう思う」の回答は30%以上を達成した。(32%)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の心と身体の健康を維持するために、おはようメータを担当が毎日確認し、児童の変化に迅速に気づき対応できるように、全教員に意識をもたせる。 ・担任が児童と向き合える時間を増やし、児童の小さな変化に気付けるようにするために、放課後の会議時間を減らしていく。その手段として、GoogleClass-roomを活用し、事前に議案を共有しておくことを周知徹底する。
3	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会では、子どもたちに付けたい力である「進んであいさつができる」について、概ね達成できていると評価を得ている。 ○学校運営協議会、SSN、防犯ボランティア連絡会を定期的に開催し、保護者や地域の方に、本校の教育活動や児童の様子を周知している。 (課題) ○学校運営協議会における、子どもたちに身に付けさせたい力の一つである「自分のよさを知り、自信へとつなげる」を具現化していくこと。 ○目指す児童の姿を家庭・地域・企業等に広め、地域に住み、地域に集う全ての方々と共有できるようにする。児童に育みたい力について熟識し、その実現に向けた方策を定め、継続的な行動に向けて取り組む。 	<p>目指す児童の姿を地域全体で共有するためにHPの活用・教育活動の公開を進める。</p>	<p>①学校により、授業参観・懇談会等の校長挨拶、学校運営協議会等において、学校の取組や児童の様子を更に積極的に発信する。</p> <p>②学区内の5つの登校コースを管理職が毎月巡回し、登校の実態を把握すると共に、地域の方々とコミュニケーションを深める。</p>	<p>①学校評価(保護者アンケート)において、「学校の取組や子どもたちの様子がわかる」の項目で「そう思う」の回答(R6 25%)が30%以上になったか。</p> <p>②毎月、学区内にある5つの登校コースを巡回し、地域の方とコミュニケーションをとったか。</p>	<p>①学校評価「学校の取組や子どもたちの様子がわかる」の項目で「そう思う」の回答はR6を2%上回ったが30%以上は達成できなかった。しかし、全体の肯定的回答は昨年度比9%向上した。</p> <p>②毎月、学区内にある5つの登校コースを巡回し、地域の方と継続的にコミュニケーションをとった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から信頼される学校づくりを目指し、引き続き青少年育成会や各自治体の行事へ参加するなど、地域と積極的にいかかわっていく。 ・学区内にある登校コースを巡回し、地域の方と継続的にコミュニケーションをとり、児童の安全確保を進めていく。
		<p>学校運営協議会の熟識内容を保護者、地域の方と連携した教育活動を実現する。</p>	<p>①学校HPに、児童の活動を紹介するページを作成し、毎月更新したり、学校運営協議会の取組を紹介したりすることでより多くの方に周知する。</p> <p>②学校運営協議会に児童自身が参加し、地域と協働して学校づくりが行えるようにする。</p>	<p>①学校HPを毎月1回以上更新し、児童の様子や学校の出来事等を保護者や地域の方に迅速に情報提供することができたか。</p> <p>②学校運営協議会の全3回において、児童が参加して取組を発表する機会を設けることができたか。</p>	<p>①学校HPを毎日更新し、児童の様子や学校の出来事等を保護者や地域の方に情報提供することができた。学校HPのアクセス数は90,000件以上増加した。(12月現在)</p> <p>②学校運営協議会の全3回において、児童が参加して取組を発表する機会を設けた。熟識議題に関するアンケートを事前に取りすることで、熟識が円滑に進むように工夫した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動の内容を学校HP等を使い、地域へ定期的に発信していく。 ・地域に根拠し、開かれた学校を実現していくために、学校運営協議会委員の皆様の御意見をともに、実現可能な学びの場を広げていく。 ・学校運営協議会の内容を積極的に発信していく。
4	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設設備や敷地内樹木の老朽化が進み、修繕箇所や伐採の必要なものが年々増加しているため、教育委員会へ相談している。 ○安全点検を分掌毎、定期的実施している。修繕必要箇所は教頭が集約し、修繕可能な箇所は用務担当、事務職員、教頭等が対応している。 (課題) ○樹木の巨大化と老朽化が進み、落ち葉が敷地外に落ちることや、樹木の伐採要望等で、近隣住民からご指摘をいただくことがある。 ○子どもたちの学習を保障するために、落ち着いて学習を進められる教室環境づくりを進める。 	<p>安心・安全で美しい学校づくりに向けた教育環境づくりの推進</p>	<p>①教科等部会毎に分担した校内安全点検を継続的に実施する。</p> <p>②児童、教職員が学校美化に主体的に取り組めるように、HP、学校により、講話等を通して継続的に発信していく。</p>	<p>①学校評価「美しい学校づくり」(保護者アンケート)の項目において、肯定的評価(R6 79%)を81%以上に向上させる。</p> <p>②学校評価「校務分掌が確実に機能している」(教職員アンケート)項目において、「そう思う」(R6 19%)を21%以上に向上させる。</p>	<p>①学校評価「美しい学校づくり」の項目で、肯定的評価81%以上を達成した。</p> <p>②学校評価「校務分掌が確実に機能している」の項目で、「そう思う」の回答は21%以上を達成した。(29%)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な学校を組織的に継続していくために、学期ごとに実施している避難訓練等を前年踏襲するのではなく、様々な状況を設定し、教職員、児童が主体的に考え行動できる訓練を設定していく。 ・児童の登下校時の安全を確保するために、安全指導を継続的に行うと共に、委員会活動を使って、児童自ら課題解決していけるように指導していく。
		<p>集中して学習に取り組める美しい教室環境づくりの推進</p>	<p>①教職員や児童、保護者等と積極的にコミュニケーションをとり、子どもたちが主体的に掃除することを促すと共に、修繕必要箇所を早期発見し、修繕に努める。</p> <p>②年間を通し、継続的に校内巡視を行い、修繕箇所をあらいだし修繕していく。</p>	<p>①学校評価「環境美化に努めている」(教職員アンケート)の項目において、「そう思う」(R6 37%)を40%以上に向上させる。</p> <p>②学校評価「一生懸命に掃除に取り組んでいる」(児童アンケート)の項目において、「そう思う」(R6 66%)を70%以上に向上させる。</p>	<p>①学校評価「環境美化に努めている」の項目で、「そう思う」の回答が40%以上を達成した。(50%)</p> <p>②学校評価「一生懸命に掃除に取り組んでいる」の項目で「そう思う」の回答は70%を達成できなかった。(60%)しかし、全体の肯定的回答は昨年度比と2%向上した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を教職員、児童が、学校を「自分が生活する場所」として意識し、学校を自分たちで美化し意識をもたせるように継続的に発信していく。 ・「美しい学校」を合言葉に、清掃指導はすみずみまできれいに掃除ができるように指導すると共に、自らも清掃活動を児童と共に続けていく。
5	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年とも、教員同士が協力して、学年経営に取り組んでいる。また、本部職員も献身的に協力し、協働体制が整っている。 ○ICTを効果的に活用した授業づくりに取り組んでいる。 (課題) ○児童の学習理解を深めるために、ICT活用を更に加速させていく。 ○主体的な活動や本時のまとめを意識した授業実践を重ねる。 	<p>教職員一人ひとりが「教え方改革」を意識して教材研究に取り組む。</p>	<p>①教職研修に応じた業務・授業改善について助言し、研修受講奨励を継続的に発信する。</p> <p>②組織的にICT機器を活用した授業方法の研究や授業相談会を実施すると共に、ICT活用の特化した校内研修を毎月1回実施する。</p>	<p>①年間を通して一人2研修受講できたか。</p> <p>②ICT活用に関する校内研修を年間10回実施できたか。</p> <p>③学校評価(教職員アンケート)において、「端末を活用した学習活動を進められたか」の項目で「そう思う」の回答(R6 50%)が65%以上になったか。</p>	<p>①年間を通して一人2研修受講できた。</p> <p>②ICT活用に関する校内研修を年間10回実施した。</p> <p>③学校評価「端末を活用した学習活動を進められたか」の項目で「そう思う」の回答は65%を下回った。しかし、全体の肯定的回答は昨年度比と同評価であった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりが自己のフェーズに相当する研修を受講し、インプットした内容を自己研鑽の糧としているが、そこに校内アウトプットすることを加えることで、自己の学びを更に一歩深めていく。 ・ICT機器を有効的に活用した授業実践を全教員が共有し、学校全体で指導力を向上させていく。
		<p>学校課題研修の取組が教員一人ひとりのフェーズに合った形でそれぞれの資質向上につながる取組。</p>	<p>①主体的な活動や本時のまとめを意識した授業実践となっているかを管理職による教室訪問等で見届け、必要に応じて指導・助言する。</p> <p>②学校課題研修の内容が教員の資質向上につながる、一人ひとりの負担にならないように、全教員が協働できる研修になるように、教員と対話していく</p>	<p>①学校評価(教職員アンケート)において、「教材研究を充分に行い、教科指導を行った」の項目で「そう思う」の回答(R6 37%)が40%以上になったか。</p> <p>②学校評価(教職員アンケート)において、「学校課題研修に主体的に取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答(R6 25%)が30%以上になったか。</p>	<p>①学校評価「教材研究を充分に行い、教科指導を行った」の項目で「そう思う」の回答が40%を達成できなかった。(21%)しかし、全体の肯定的回答は昨年度比と同評価であった。</p> <p>②学校評価「学校課題研修に主体的に取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答が30%を達成できなかった。(29%)しかし、全体の肯定的回答は昨年度比6%向上した。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任、研究主任のリードのもと、「教え方改革」を念頭に置いた授業改革を更に進めていく。 ・学テの結果をもとに、各自が分析し、成果と課題をあらいだしたものをともに、何をすればよいかを全教員で研修することで授業にいかしていく。

学校運営協議会による評価
 実施日令和8年2月12日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等

各委員からは、読書習慣づくりや『読み・書き・考える』といった基礎学力の充実、ICTと紙教材のバランスある活用が求められた。授業では思考力を育む指導が評価され、STEAM型探究や教科横断的学習のさらなる充実が期待された。読書を計画的に行う環境整備の重要性が指摘され、保護者からも学力向上の実感が得られていることから、今後も児童の学習意欲を高める取組の継続が望まれた。

悩みを抱えた児童が安心して相談できる環境づくりが重要との意見が多く、担任任せにせず学校全体で見守る体制の明確化が求められた。Sola る一む等の活用や迅速ないじめ対応は評価され、特に高学年児童には丁寧な状況把握が必要とされた。明るい学校生活が児童の心理的安定につながっているとの評価も寄せられた。

校長が積極的に地域へ外向き、学校と地域の連携が深まりつつある点が評価された。あいさつ運動やごみ拾い活動など地域参画の機会が広がり、自治会や中学校との連携強化も期待されている。一方、高齢者にとって学校HPの情報が届きにくいとの指摘があり、多様な手段で取組を発信し、地域が関わりやすい環境整備を求める声があった。

避難訓練や樹木整理など、安全確保の取組が評価されつつ、継続的な点検が求められた。校舎・設備の修繕が進んでいる点は肯定され、ランドセルロッカーや廊下の荷物配置など、学年に応じた環境改善の提案もあった。また、地域性を生かし、人権教育の視点で児童の主体的な取組を見る化し、意欲向上につなげることが望まれた。

教員の多忙な中での研修への取組が評価され、ICT活用や一般常識の再確認、専門性向上など計画的な研修の必要性が指摘された。教員同士の協働体制が学級経営に良い影響を与えているとし、児童にとって『一生涯先生』であるという視点を持ち、長期的な成長と資質向上を求める意見があった。

